

# クラス通信

麻生本校・円山校 2020. 11.10 発行

クラスユニック中学部

中高一貫コース 11月 第8号

保護者の皆様へ

理事長・校長 福島 新四郎

先月号で、受験勉強は工夫して取り組む必要性を提言しましたが、大学受験において、来年1月、従来の「センター試験」に変わって「共通テスト」が実施されます。実施に際して、試行テスト等で出題の変更点が挙げられています。

例えば、日本史の試行テストでは、抽象的な選択肢の文章から具体的な出来事を思い出して、どの時代のことなのかを特定する、といった複雑なプロセスを要求され、センター試験よりも難度が増えています。日常の学習から、(1) 西暦年代よりも、世紀を軸とする時代感覚を意識し、歴史的事象の時期をつかむ。(2) 具体的な歴史的事象をまとめて抽象化し、ある時期の時代像を把握する。といった姿勢が求められています。世紀ごとの枠組みで囲った年表を作成し、時代像を100年単位でつかんでいくなどという学習が非常に有効です。これにより、抽象的な文章表現から具体的な歴史的事象を想起し、時期を特定することができるようになるのです。中学生の歴史学習からこのような観点で、工夫して、考えて学習する姿勢が必要なのです。

<この続きは次月号で>

いよいよ霜月、4月に中学へ入学した生徒も又学年が進んだ生徒も今年は「コロナ禍」という未曾有の状況に日常学習の中で戸惑いを覚えた方も多いことでしょう。

でもここはしっかりと地に足付けて「中高一貫」という教育システムの中で頑張りたいと思います。今回は、この「中高一貫校」ということの価値、その価値の利用を中心に掲載致しましたのでご覧下さい。

## 中高一貫校のスピーディーな教科進度

中高一貫校を選択した理由は、様々だと思います。その中でも大学受験を考えた際に、公立との大きな違いは「数学・英語」の進度の速さと言えます。

一般的に道内の中高一貫校の数学・英語は、中2までに中学内容を終えて、中3より高校内容に入ります。この時点で公立中学校より1年圧縮しているわけです。そのため中高一貫校は、将来受験する大学へ向けての受験学習に余裕を持たせる(演習時間を大幅にとれるようにする)カリキュラム編成となっています。

ちなみに東大合格者を多数輩出している有名な「鉄緑会」では以下のような進捗で進めています。

<数学>

中1：中学範囲全般(円周角まで)

中2：数字ⅠA(基礎全般)、数学ⅡB(導入)

中3：数学ⅡB(基礎全般)

高1：高校数学全般(ⅠA,ⅡB)の発展(センターレベルまで)、数Ⅲ基礎(3学期1月から)

高2：高校数学全般(ⅠA,ⅡB)の実戦(東大入試レベルまで)、数Ⅲ基礎、発展

高3：入試の過去問、数Ⅲの実践の上(東大入試余裕レベル)

<英語>

中1：中学文法全般(受動態まで)、高校文法入門

高1：高校英語発展(入試レベル)

中2：高校文法全般基礎

高2：高校英語実戦(東大レベル)

中3：高校文法全般基礎

高3：過去問演習

<裏面に続く>

数学も、英語も恐ろしくスピーディーな進捗と感じると思います。そこまでの進捗にするには理由があります。それは演習時間を大幅に増やし、わかることをできるようにするためです。この時間が多ければ多いほど受験に有利に働くからです。中高一貫校は、そこを意識して6年間のカリキュラムを作成しています。ここで重要なのは、中1・中2の学習です。公立高校受験という区切りがありませんので、中学内容の取りこぼしがあると中3からの高校内容で大きく躓きます。しかも進捗が速いので取り戻す時間はほぼありません。だから日々の学習が重要です。十分に理解して演習を行って学力をつけていくとなると、毎日の自習は最低でも2～3時間は必要です。その位消化すべき量があるからなのです。

量に負けないように、また量に流されないように常に工夫を意識して学習に取り組むことが大切です。

### 三者面談のお知らせ

新学年として4月にスタートして8ヶ月余り、当校での学習の総決算ともいべき時節、恒例の「三者面談」を行います。日頃お子様についてお感じになっていること、指導への要望等、個別の面談機会を設けましたので、お忙しい中とは思いますが奮ってご参加下さい。※各校舎で日程が異なります。下記をご参照ください。

#### <円山校>

期間：11/26（木）16：00～21：00

11/27（金）16：00～19：00

※面談のお申込みは電話、LINE、直接生徒から、のいずれでも結構です。 ☎613-7755

#### <麻生校>

期間：11/28（土）9：00～17：00

11/29（日）9：00～12：00

※面談のお申込みは電話、LINE、直接生徒から、のいずれでも結構です。 ☎716-7162

面談内容：中1、2生…学校での学習状況の確認

※面談内容は円山校、麻生校とも共通です。

冬期講習期間でやるべき学習、冬期以降の過ごし方

大学受験に向け2024年度から採用される「英検」の重要性

中3生…進路についての確認、冬期講習期間でやるべき学習等

※上記日程がどうしても都合の悪い場合は遠慮なくご連絡下さい。

### 冬期講習案内

期間：12月28日（月）～1月8日（金）麻生校（詳細は同封の「冬期講習パンフレット」をご参照下さい）

※この期間の通常授業は年内12月25日（金）まで、年明け1月11日（月）から始まります。

12月21日（月）～1月8日（金）円山校（詳細は同封の「冬期講習パンフレット」をご参照下さい）

※この期間の通常授業は年内12月19日（土）まで、年明け1月11日（月）から始まります。

#### <講習期間指導目標>

I、冬休み明け「学力推移テスト」（英数国）に向け学校で学習した範囲の総復習

※従来数学だけにシフトしての個人指導の要望が多いのですがやはり3教科万遍無く学習することをお勧めします。

II、上記テストに向けての「過去問」指導、その周辺知識の指導

申込：同封パンフレットにある「冬期講習申込書」に所定の内容を記入の上窓口に出して下さい。

「受講料」は銀行振込み、麻生本校のみ窓口持参・カードも可。コンビニ振込はしていません。尚、受講料納入が諸都合で遅れる場合は、教務までご連絡下さい。



11・12月の予定詳細は下記「QRコード」からHP上でご覧下さい。

緊急時連絡はラインでお知らせ致します。

麻生本校 小中学部

円山校 中学部

麻生校：001-0037 札幌市北区北37条西3丁目3-15 ☎011-716-7162

円山校：064-9820 札幌市中央区大通西23丁目1-1 ☎011-613-7755

